

# 「広聴・広報についてのアンケート」実施報告

e-モニターのみなさんにご参加いただいた「e-モニターアンケート」と県内各地域で開催いたしました「知事と語ろう 本音でトーク」について、今後の運営に生かしていくため、「広聴・広報についてのアンケート」を実施しました。

アンケートにご協力いただきましたe-モニターのみなさんにお礼を申し上げますとともに、アンケートの実施結果を、下記のとおり報告します。

## 記

### アンケート概要

#### アンケート実施期間

平成 21 年 3 月 4 日から平成 21 年 3 月 23 日まで

#### 意見募集の結果

対象者数 1,138名  
回答者数 763名  
回答率 67%

#### 回答者属性

性別 【男性】 415名 54% 【女性】 348名 46%

年代別

【20代】	【30代】	【40代】	【50代】	【60代】	【70代以上】
78名	168名	196名	175名	118名	28名
10.2%	22.0%	25.7%	22.9%	15.5%	3.7%

就任年度別

	【20代】	【30代】	【40代】	【50代】	【60代】	【70代以上】
H18 年度	8名 3.9%	46名 22.2%	59名 28.5%	51名 24.6%	40名 19.3%	3名 1.4%
H19 年度	44名 11.1%	87名 22.0%	93名 23.5%	98名 24.7%	56名 14.1%	18名 4.5%
H20 年度	26名 16.3%	35名 21.9%	44名 27.5%	26名 16.3%	22名 13.8%	7名 4.4%

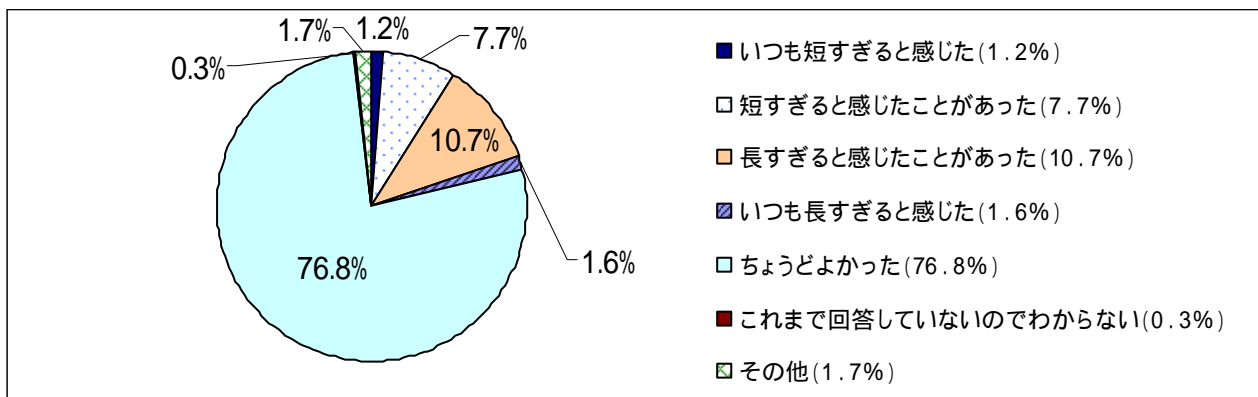
### アンケート結果を受けて

#### 【設問1】 e-モニターアンケートの依頼の間隔

広聴広報室では、平成20年度に実施しました15回のアンケートについて、依頼の間隔が月1～2回になるよう実施してきたところです。

今回、この依頼の間隔についての感想をお聞きしたところ、「ちょうどよかった」と答えた方が586人(76.8%)と概ね肯定的に捉えていただいていることがわかりました。また、モニターへの就任年度ごとの回答状況をもとに、「ちょうどよかった」と答えた方が、平成18年度就任モニター：165人(79.7%)、平成19年度就任モニター：303人(76.5%)、平成20年度就任モニター：118人(73.8%)と、いずれの就任年度におきましても概ね肯定的に捉えていただいていることがわかりました。

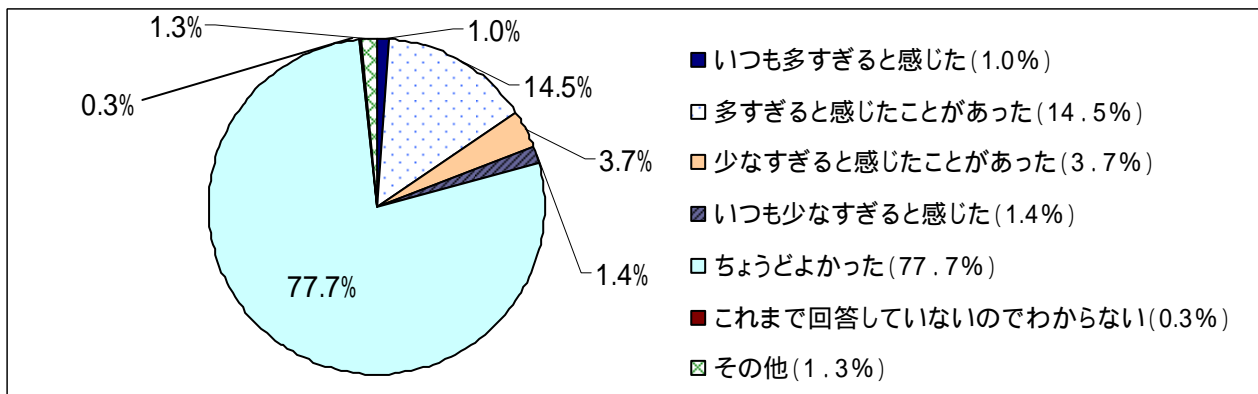
引き続き、この間隔を基本にアンケートを実施していきたいと考えています。



### 【設問2】 e-モニターアンケートの設問数

同様に、アンケートの設問数(毎回おおむね10問~15問に設定)についての感想をお聞きしたところ、「ちょうどよかった」と答えた方が593人(77.7%)と概ね肯定的に捉えていただいていることがわかりました。また、モニターへの就任年度ごとの回答状況をも、 「ちょうどよかった」と答えた方が、平成18年度就任モニター:161人(77.8%)、平成19年度就任モニター:303人(76.5%)、平成20年度就任モニター:129人(80.6%)と、いずれの就任年度におきましても概ね肯定的に捉えていただいていることがわかりました。

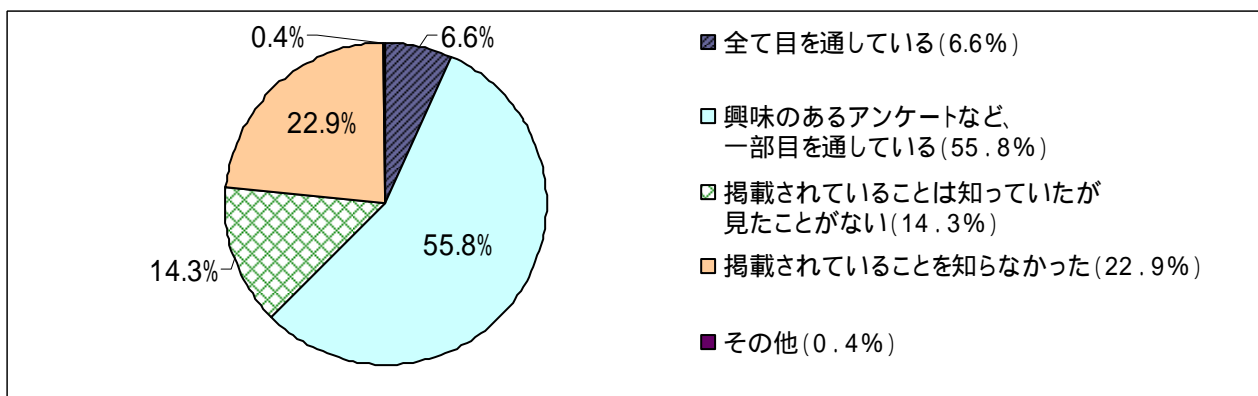
引き続き、この設問数を基本にアンケートを実施していきたいと考えています。



### 【設問3】 e-モニターアンケートの最終報告

設問3で、e-モニターアンケートの最終報告の閲覧状況について、お聞きしたところ、「全て目を通して」と答えた方が50人(6.6%)、「興味のあるアンケートなど、一部目を通して」と答えた方が426人(55.8%)と、半数以上の方がご覧いただいたことがあるということがわかりました。

一方で、「掲載されていることを知らなかった」、「掲載されていることは知っていたが見たことがない」をあわせると284人(37.2%)の方が最終報告をご覧いただけていないこともわかりました。最終報告については、アンケート終了後、概ね1カ月後には、e-モニターのホームページに掲載されますので、ぜひご覧いただきますようお願いいたします。



#### 【設問4】 e-モニターアンケートの最終報告についての感想(自由記述)

設問4で、e-モニターアンケートの最終報告についての感想をお聞きしたところ、「端的にまとめられていて読みやすい」、「県の方向性が良く理解できるようになった」、「他のモニターの回答と比較できて参考になる」、といった感想が寄せられました。

一方で、「結果に対する県の考え方をもっと示してほしい」、「グラフなどを利用してわかりやすくした方がよい」、「はじめに結論ありきのように感じる」、「結果がどう反映されているか知りたい」、といった感想も寄せられています。

また、その他のご意見として、「一度行った内容について、意識がどう変わったかを再度アンケートで調査するのは大変有効だと思う」、「少数意見も示してほしい」、「結果について、地域による特徴もあわせて紹介してほしい」、「もう一步踏み込んだ分析をしてほしい」、「自由記述式の回答も見たい」、「難しい言葉には意味を付け加えてほしい」、「最終報告の文字などの様式を統一した方がよい」などの感想も寄せられました。

これらのご意見を参考にわかりやすい最終報告にするよう担当室とともに取り組んでまいります。

#### 【設問5】 e-モニターアンケートに関する感想

設問5で、e-モニターアンケートへの参加を通して、三重県政を身近に感じるようになったかについて尋ねました。その結果、「とてもそう感じる」と答えた方が121人(15.9%)、「少しそう感じる」と答えた方が505人(66.2%)とあわせて約8割の方に三重県政を身近に感じてもらえたことがわかりました。

今後も、e-モニターアンケートへの参加を契機に県政を身近に感じてもらえるよう、引き続き努力していきたいと考えています。

#### 【設問6】 e-モニターアンケートに参加してよかったこと(自由記述)

設問6で、e-モニターアンケートに参加いただいて、よかったと思われることについてお聞きしたところ、「県政について考える機会となった」、「直接、意見を伝えることができた」、「県政(三重県)のことを身近に感じられるようになった」、「自分の中で意識が変わった」、「三重県人を意識するようになった」といった感想が多く寄せられました。

三重県では、「みえけん愛を育む”しあわせ創造県”」を「県民が主役となって築く」ことを基本理念に掲げて県政を行っています。e-モニターアンケートを通じて、みなさんと「しあわせ創造県」を築いていくことができるよう、努めていきたいと考えています。

引き続き、みなさんに e-モニターアンケートに参加してよかったと思っていただけるよう取り組んでまいります。

#### 【設問7】 e-モニターアンケートへの要望、提案(自由記述)

設問7で、e-モニターアンケートへの要望、提案をお聞きしたところ、たくさんの要望、提案をいただきました。いただいた主なご意見、ご提案と当室の考え方は、次のとおりです。

次回のアンケートの実施時期がわかるとアンケートに回答しやすい。

ご提案いただいたとおり、次回の実施時期がわかるとアンケートに回答しやすいと思われ、また、そのことによりアンケートの回答率がよくなることも見込まれます。可能な限り、メールマガジンなどで次回のアンケートの実施時期(予定)をお知らせしていきます。

また、e-モニターのホームページにe-モニターのみなさんへの「お知らせ」コーナーを作成するよう検討中です。こういったコーナーを活用して、次回のアンケート予定等についても掲載していきたいと考えています。

もっと自由記述式回答で意見を述べられるようにしてほしい。アンケートの最後に自由意見欄を作してほしい。

引き続き、自由記述式の回答を出来る限り設けるよう、担当室に働きかけをしていきます。

また、県政全般にわたるご意見やご要望、ご提案については、さわやか提案箱(<https://www.pref.mie.lg.jp/NAVI/SAWAYAKA/index.htm>)をご活用ください。

自由記述回答が苦手、あまり書くことが無いときに時間がかかってしまう。

基本的に自由記述式の設問は、任意回答としておりますので、設問に記載するなどそのことがわかるように明示いたします。

ID、パスワードを自由に変更したい。

IDを変更することは年度ごとのモニター数を把握するなどの運営面で支障があることから、変更いただくことはできません。

また、システム上からモニターの方が自由にパスワードを変更いただける仕様とはなっていません。現時点では、システムの変更に要する経費のこともあり、対応することはできかねますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、ID やパスワードをお忘れになった方のために、リマインダー機能もありますので、ご活用ください。<https://www.e-kocho.pref.mie.lg.jp/monitor/index.html?a=top;remind&id>

回答を送信した際に、自分の回答内容を保存できるとよい。

現在のシステムでは回答内容を保存することはできないため、ご面倒ですが、回答の際はその都度回答内容をコピーして、Word などに保存していただいた後に回答を送信していただきますようお願いいたします。

第 回という見出しを付けてほしい。

ご提案いただいたとおり、見出しを付けることにより、年度の 回目のアンケートということがよくわかるため、第 回という見出しを付けるようにいたします。

その他にも、たくさんのご要望等をいただきました。

すべての項目にお応えしていくことは出来ませんが、よりよいアンケートができるよう改善に努めてまいりたいと考えています。

今後とも、お気づきの点がございましたら、広聴広報室あて、ご連絡いただければと思います。

### 【設問8】「知事と語ろう 本音でトーク」の認知度

設問8で、「知事と語ろう 本音でトーク」の認知度、参加の状況についてお聞きしたところ、「知らなかった」と答えた方が404人(52.9%)と過半数の方に知られていないことがわかりました。

特に20代の71.8%、30代の56.0%、40代の55.6%が「知らなかった」と答えていることから、20代から40代の方を中心に事業の一層の周知に努めてまいります。

### 【設問9】「本音でトーク」の実施を知った広報媒体

設問9で、「本音でトーク」の実施を知った広報媒体についてお聞き(複数回答可)したところ、「県政だより みえ」と答えた方が268人(45.7%)、「県ホームページ」と答えた方が68人(11.6%)「新聞」と答えた方が61人(10.4%)という結果となりました。

この結果を踏まえ、効果的に広報媒体を活用して、より多くの方に「本音でトーク」を知っていただくよう周知に努めます。

### 【設問10】「本音でトーク」の内容について

設問10で、「本音でトーク」に参加するなら、知事とどのようなことについて語り合いたいかについてお聞きしたところ、「医療の充実」、「子育て支援」など、生活に密着した内容を中心にたくさんのご意見をいただきました。また、その他、「三重県の未来」、「三重県の方向性」など、これからの三重県について語り合いたいというご意見もいただきました。

これらのご意見は、「本音でトーク」の実施について知事と協議する際の参考資料として活用させていただきます。今後の「本音でトーク」を実施してまいります。

## 【設問11】 県からの情報の伝達度

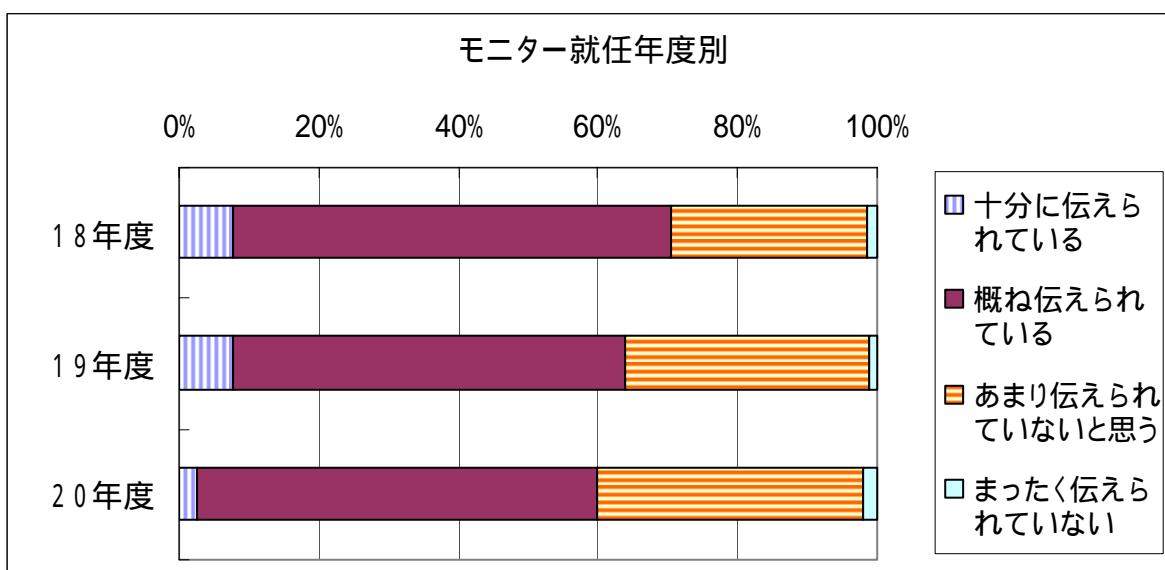
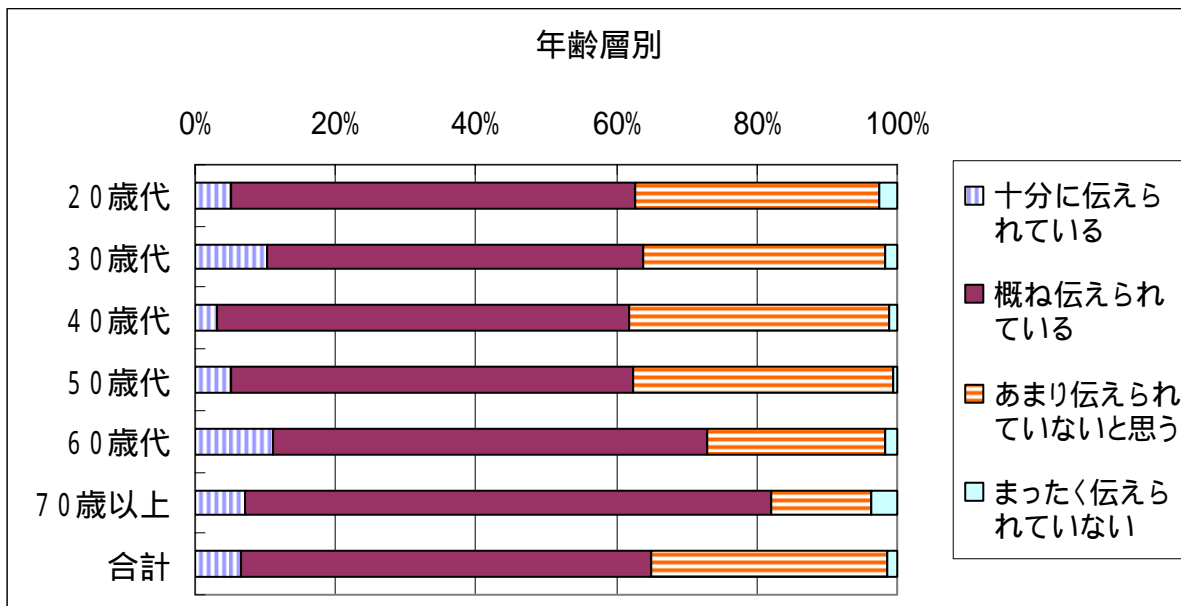
県では、さまざまな方法で県の情報を県民の皆さんにお伝えする取り組みを行っていますが、県から発せられた情報が、県民の皆さんにどの程度伝わっているのか、その伝達度を施策の数値目標に掲げているところです。

アンケートの結果、「十分に伝えられていると思う。」、「概ね伝えられていると思う。」が、昨年度の数値(45.2%)と比べ、19.7ポイント増加し、64.9%となりました。

年代別に見てみると、50歳代以上の各世代において、昨年度の調査と比べ、20ポイント以上の大幅な増加が見られました。

また、モニターへの就任年度別の状況を見ると、いずれの区分においても「十分に伝えられていると思う。」、「概ね伝えられていると思う。」と答えていただいた方が6割以上を占める結果となりました。中でも、3年間モニターを務めていただいた18年度就任モニターの数値が一番高い結果となりました。これは、モニター活動を通じて、より県政を身近に感じていただき、その結果、県からの情報への関心度が高まったということもひとつの要因ではないかと考えています。

今回の結果を、維持、向上できるよう、今後とも、県民のニーズの的確な把握に一層努め、よりわかりやすい広報活動に取り組んでまいります。



年齢層別調査結果の推移表(平成18年度～20年度)

